



2018年12月 南アフリカ新聞第17号

SABONA

鈴木 壮太

タンザニアに行ってきました。そこでキリマンジャロという山に登ってきました。

タンザニアってどこ？



タンザニアは南アより北側に位置しています。今回はキリマンジャロの近くのモシという町で登山の準備をしました。モシには大きな市場があるのが特徴です。人々が親切で過ごしやすく、この町が気に入りました。(下の写真は市場の様子。雰囲気が良い。)



トマト、たまねぎ！



大量のスイカ！



どこかわくわくする

キリマンジャロの高さ

スカイツリー
634m

富士山
3,776m

キリマンジャロ
5,895m

キリマンジャロ登山開始！

【1日目】



ガイド1人、ポーター（荷物を運ぶ人）5人、コック1人と共に登山開始。ポーターは肩にリュック、頭に約15キロの荷物を載せて登る。ちなみに登山客は小さなリュックだけで登る。(ポーターが荷物を持ってくれる。そして歩くペースがものすごく速い！素人は危ないので彼らと同じペースでは登れない。)



ちなみにコックとポーターは私たちより先に登り、目的地でテントを張って料理の準備をする。作ってくれる料理がとてもおいしい。



テントで食べる食事

歩いた距離 11km

歩いた時間 6時間

マチャメキャンプの標高2980m

【2日目】



どんどん登っていく。合言葉はスワヒリ語で「ポレポレ」(ゆっくりゆっくり)と、「ハクナマタータ」(なんとかなるさ)。そして高山病にならないように、朝、昼食後に高山病予防の薬を飲む。副作用で手足の指がしびれる。



左の写真はキャンプ場。雲と雲に挟まれている。ちなみに奥に見えるのはメルー山(4,565m)。次回タンザニアに行ったら登りたい。

歩いた距離 5km

歩いた時間 5時間

シラキャンプ標高 3840m



天空でキャンプ



レスキューヘリ→



頂上→

私もポーターに挑戦。
しかし3メートル先で諦めた。



【3日目】

この日は高地に体を慣らすために、一度下がって再び登る。しかし残念なことに雨時々みぞれ。長時間歩いたので、靴、服、リュックの中がびしょびしょに。テントに入って暖まろうとしたらテントの中もびしょびしょで凍えた。しかし翌朝は見事な快晴に歓喜。

歩いた距離 7時間

歩いた時間 10km

バランコキャンプ標高 3,950m

【4日目～5日目】

高度が上がり、歩くスピードがさらに遅くなる。1日あたり4ℓの水を飲む。道中、ヘリコプターで運ばれる登山客を見て怖くなる。この日は午後4時にキャンプ場へ。高度が上がり、食欲を失う。景色は美しい。

歩いた距離 9時間

歩いた時間 9km

バラフキャンプ標高 4550m

この日は夕方5時に寝て、夜11時に起きて頂上へアタック！登っている途中、眠くなる。しかし寝ると死んでしまうので起きる。（気温-15℃）そして、ものすごい遅さで1歩1歩登る。しかしそれでも呼吸を乱してしまうので、休憩して呼吸を整える。そのまま無言で歩き続けていくと、後ろには朝日、さらに登り続けていよいよ頂上へ…。



頂上付近は氷河で覆われている。



久しぶりのきちんとした食事

ここが頂上！（5,895mの高さ！）そのときの私の正直な気持ちがこちら。

「早く下山したい…。」
達成感10% 疲労90%…。というのも、標高の高さと疲れで頭痛が出てきたため、達成感を感じる余裕なく下山。

一旦近くのキャンプ場まで戻り1時間の仮眠。そこから6時間かけて下山していく。

歩いた距離 27km

歩いた時間 14時間

ムウェカキャンプ標高 3100m

キャンプにたどり着いた時の安心感。10時間以上寝た。

【6日目】

たくさん寝たから体力も回復。頭痛もなし。快適に下山。無事終了。

歩いた距離 10km

歩いた時間 4時間

ムウェカゲート 1,640m

- 下山後に飲んだコーラが体にしみた。
- 息がしやすいことに気づいた。
- 達成感がじわじわ湧いてきた。
- 全歩行距離 62km（45時間）

【おまけ】

下山後にモシの町で偶然見つけた韓国料理屋さんの料理がおいしかった。